

令和4年度 環境 ISO ユニット代表者連絡会

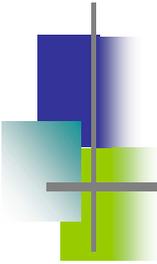
資料No.0

- I. 日 時 令和4年7月5日(火) 16:00~17:00
- II. 場 所 附属病院 B 棟 2 階 臨床大講義室
- III. 連絡事項
 1. ISO14001 の概要および環境保全活動の状況について . . . 資料 No.1
 2. 令和4年度環境 ISO 内部監査計画書(案)について . . . 資料 No.2
 3. 一般財団法人日本科学技術連盟 ISO 審査登録センターの EMS 継続審査(外部審査)について . . . 資料 No.3
 4. 今後のスケジュール(案)について
 - (1) ユニット内研修の実施について
実施期間：令和4年7月29日(金)まで
対 象：各ユニット内のユニット構成員である教職員
 - (2) 内部監査員養成研修講座の実施(オンデマンド研修)
実施時期：8月中(事前に各ユニットへ受講者を募ります。)
参加対象：内部監査員資格の未取得者
 - (3) 内部監査の実施について
実施時期：9月中旬~10月中旬
監査対象：全ユニットの1/3程
 - (4) 外部審査の実施について
実施時期：12月頃
審査対象：約8ユニット
 - (5) 環境影響調査の実施について
実施時期：1月頃
対 象：全ユニット構成員(全教職員、ただし附属病院職員を除く。)
 5. 各種提出書類について
(様式等は後日、メール送信します。)
 - ① 教育研修実施報告書
 - ② 実施計画書
 - ③ 実施報告書

提出期限【①②提出期限：7月29日(金)、
③提出期限：3月24日(金)】

令和4年度 環境ISOユニット代表者連絡会

令和4年7月
松岡地区総括環境責任者



ISO14001とは

ISOとは、工業標準の策定を目的とする国際機関で、各国の標準化機関の連合体、International Organization for Standardizationの略。ISO14001という規格では、あらゆる組織が自発的に、環境関連法規の遵守の下、自ら汚染の予防を含めた環境目標を定め、それを組織的に実現し、さらに**継続的な改善を行う仕組み（環境管理システム）**を構築し運営することを求めている。

ISO9001は、品質管理及び品質保証のための国際標準規格であり、本学医学部附属病院も取得している。

なぜ教育機関が環境ISOを取るのか？

登録件数 : 日本全体 12,820件、うち教育機関 25件 (2022.6現在)

JABに認定された機関のみ

- イメージ戦略 (企業イメージ↑、第三者認証の信頼性↑)
- コスト削減 (省エネ効率↑、廃棄物↓)
- 市場での利益 (入学生確保、開拓)
- 顧客(学生・保護者)の信頼 (信頼性↑)
- 職員のメリット (作業環境↑、環境教育↑)
- 環境上の利益 (環境影響↑↓)
- 社会的責任 (存在価値、組織力の向上↑)

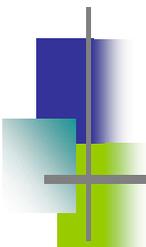


PDCAサイクルについて

環境管理システム
(EMS: Environmental Management System) はPDCAサイクルを採用し、継続的改善を要求している。

福井大学はEMSに基づき、継続的にエコキャンパス作りに取り組んでいる。

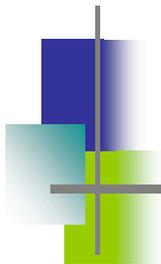




部局環境責任者および ユニット代表者の職務

環境マネジメントマニュアル第9版 P.14 (抜粋)

部局環境責任者	総括環境責任者と協力し、各部局における環境推進活動の支援 各部局における実施計画、手順順守状況等の監視測定に対する支援 各部局における環境教育実施サポート 総括環境責任者との連絡・報告・相談窓口
ユニット代表者	ユニットにおける環境保全・推進活動の実施、及び報告 部局環境責任者からの指示に従って、ユニットにおける実施計画、手順順守状況等の監視測定の実施 ユニットにおける構成員への環境教育の実施 その他実施計画運用上の各ユニットの役割への対応



福井大学の 理念 と ビジョン

理念

かくち

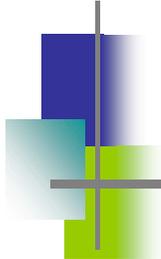
格致によりて 人と社会の未来を拓く

ひら

※「格致」とは、物事の道理や本質を深く追求し、理解して、知識や学問を深め得るという意味。

福大ビジョン 2040

福井大学では、理念を実現するための道標として、2040年に向けて大学の未来像を具現化する「福大ビジョン2040」を策定しました。これにより、教職員とともに理念とビジョンに基づき共感性を高め果敢に挑戦すること、またステークホルダーの方々とも共有し、繋がりを一層深化することを目指していきます。



福井大学の 未来像 と ミッション

■ 2040年における福井大学の未来像

➤ 世界に通じる地方総合大学

- バーチャルキャンパス、オンライン教育による世界とのアクセス拡大
- 国内外の大学・機関との結びつきの強化
- 地域連携プラットフォームを通じた県内高等教育機関との協働・地域共創

➤ 社会から頼りにされる、活力ある大学

- 福井大学の特徴も踏まえたひとづくり・ものづくり・ことづくり、地域医療と教育の拠点機能、産学官金連携活動
- 教職員・学生「ここで働くこと、学ぶことにプライドをもち、今を生き生きと過ごす」

■ 福井大学の未来像に向けたミッション

1.教育

- 深い実践的教養を備える卓越高度専門職業人の育成
- 学生のキャンパスライフの質向上
- 学びの母港構築による人生100年時代へ対応

2.研究

- 福井に根ざした人類知の創出
- 世界に通じる研究力とイノベーション創出
- 若手研究者の育成の実質化

3.国際化

- 世界と伍する教育研究環境の構築
- 「福井と世界を結ぶゲートウェイ」の実現

4.地域共創

- 地域活性化の中核拠点としての機能・役割の一層の強化
- 県内高校からの志願者増と卒業後の地元定着化

5.SDGs

- 持続可能な社会の実現への寄与

6.カーボンニュートラル

- 地域のゼロカーボン・キャンパスのカーボンニュートラルの実現

7.経営マネジメント

- 適切な学部・大学院の体制・規模の確保
- 総力的大学経営の実現

本学の環境方針に基づく環境目標

地球環境負荷の低減

エネルギーの抑制(電力・水・紙・重油など)

教育・研究を通じた環境活動

環境教育・研究の充実、環境汚染防止技術の開発

関連法規・自主基準の要求事項の順守

環境汚染の防止、産業廃棄物の適正管理・適正処理など

地域社会との連携

環境保全・改善プログラムへの参画、学外への情報発信
(公開講座など)

その他の環境活動

植栽の適正管理、学内リサイクル、受動喫煙の防止など



【環境方針】 マニュアルP.8および環境方針カードに記載しています。

【環境目標】 マニュアルP.25に記載しています。



ユニットの主な環境保全活動

本学の環境目標を達成するために、各ユニットに求められる主な活動内容は以下のとおりです。

法規制の順守

節電・節水・紙使用量の削減(省エネ)

ゴミの分別回収と排出量削減

(学内リサイクルシステムの利用)

実験廃液・生活排水の適正管理・処理

環境保全に関する教育活動

法規制の順守

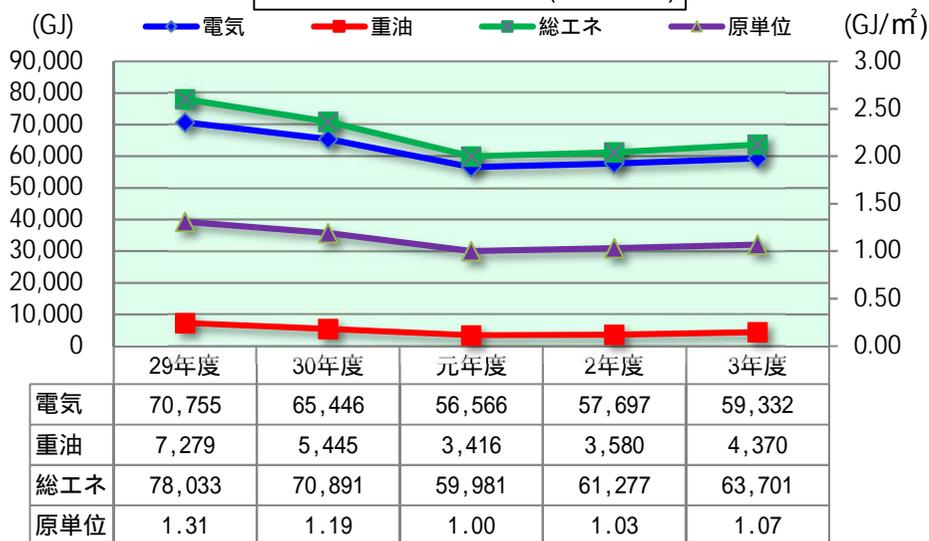
環境配慮促進法	環境配慮等の状況を公表(環境報告書の作成・公表)
エネルギー使用の合理化に関する法律	エネルギー管理標準の設定と管理, 使用状況の報告, 排出抑制計画の作成・提出等
地球温暖化対策の促進に関する法律	温室効果ガス排出量の削減に協力, 排出抑制等に関する計画書作成・提出等
PRTR(化学物質排出移動量届出制度)	化学物質排出量・移動量の把握及び届出
水質汚濁防止法	特定有害物質使用特定施設の届出, 実験廃液の完全回収
騒音・振動規制法	原動機等
毒劇法・消防法	薬品類・廃液の適正管理
下水道法・条例	実験廃液・生活排水
高压ガス保安法	超低温施設・ボンベ
フロン類関連法	冷蔵庫・冷凍庫等
廃棄物処理法	有害廃棄物の適正管理
健康増進法	受動喫煙の防止等

etc.

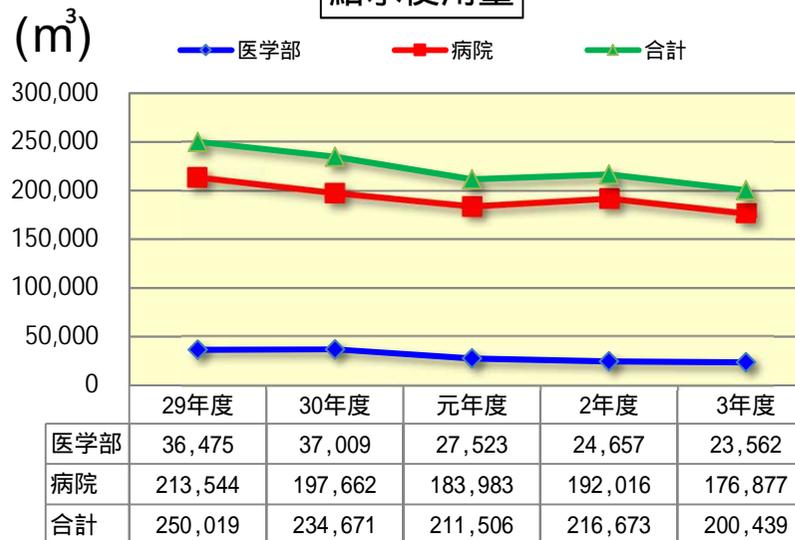
節電・節水・紙使用量の削減

過去5年間の推移

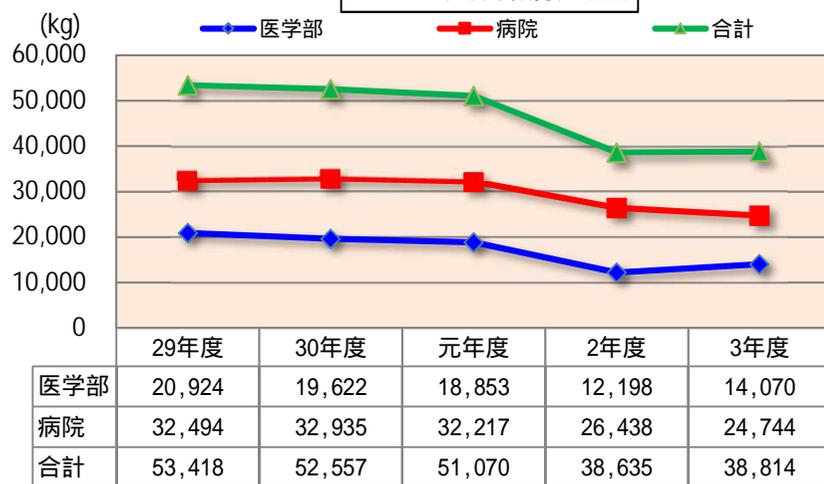
エネルギー使用量(医学部)



給水使用量



コピー用紙購入量



前年度比

エネルギー目標: 前年度比 1%削減
 水目標: 前年度使用量以下
 紙目標: 前年度使用量以下

エネルギー使用量	給水使用量	コピー用紙購入量
電気 +2.8%	医学部 -4.4%	医学部 +15.4%
重油 +22.1%	病院 -7.9%	病院 -6.4%
総エネ +4.0%	合計 -7.5%	合計 +0.5%
原単位 +3.9%		

令和元年度比

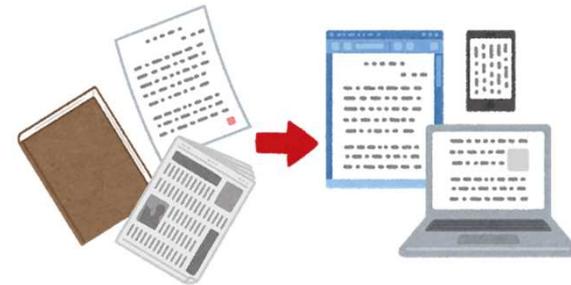
エネルギー使用量	給水使用量	コピー用紙購入量
電気 +4.9%	医学部 -14.4%	医学部 -25.4%
重油 +27.9%	病院 -3.9%	病院 -23.2%
総エネ +6.2%	合計 -5.2%	合計 -24.0%
原単位 +7.0%		

～削減するための主なポイント～

総エネルギー使用量の削減 ～前年比1%の削減を目標に！～



紙使用量の削減 ～前年度使用量以下を目標に！～



水使用量の削減 ～前年度使用量以下を目標に！～



給水使用量の経年変化(H28～R3)

水に関する目標：**前年度使用量以下に削減**

(支障のない範囲で節水に努める。)

(赤字:目標不達)

年度	医学部	松岡キャンパス全体 (医学部 + 附属病院)
H28	61,215	250,720
H29	36,475	250,019
H30	37,009	234,671
R1	27,523	211,506
R2	24,657	216,673
R3	23,562	200,439

単位: m³

紙使用(購入)量の経年変化(H28～R3)

紙に関する目標: 使用量を前年度以下に削減する

(赤字: 目標不達)

年度	医学部	松岡キャンパス全体 (医学部 + 附属病院)
H28	21,659	52,265
H29	20,924	53,418
H30	19,622	52,557
R1	18,853	51,070
R2	12,198	38,635
R3	14,070	38,814

単位: kg

③ ゴミの分別回収と排出量削減

一般廃棄物量(可燃ゴミと不燃ゴミの合計)の経年変化

廃棄物に関する目標: 一般廃棄物量を前年度以下に削減する

平成27年度から→前年度以下

(赤字: 目標不達)

年度	医学部	松岡キャンパス全体 (医学部 + 附属病院)
H28	60,999	386,485
H29	40,357	385,759
H30	41,554	365,911
R1	67,490	339,599
R2	45,517	298,003
R3	38,760	274,533

単位: kg

◆ 廃棄物削減のポイント ◆

一般廃棄物として捨てられているゴミのうち、資源ゴミに分類できるものは資源ゴミとして処分する。

◆ プラゴミ

◆ 古紙類

◆ ペットボトル・缶・瓶

◆ ペットボトルキャップ

◆ 学内リサイクル



プラゴミに関する注意

<注意> 松岡地区と文京地区と敦賀地区では分別が異なります。

プラマークがついていればプラスチックゴミというわけではないです

(松岡地区では下記を燃やせるゴミへ出します)

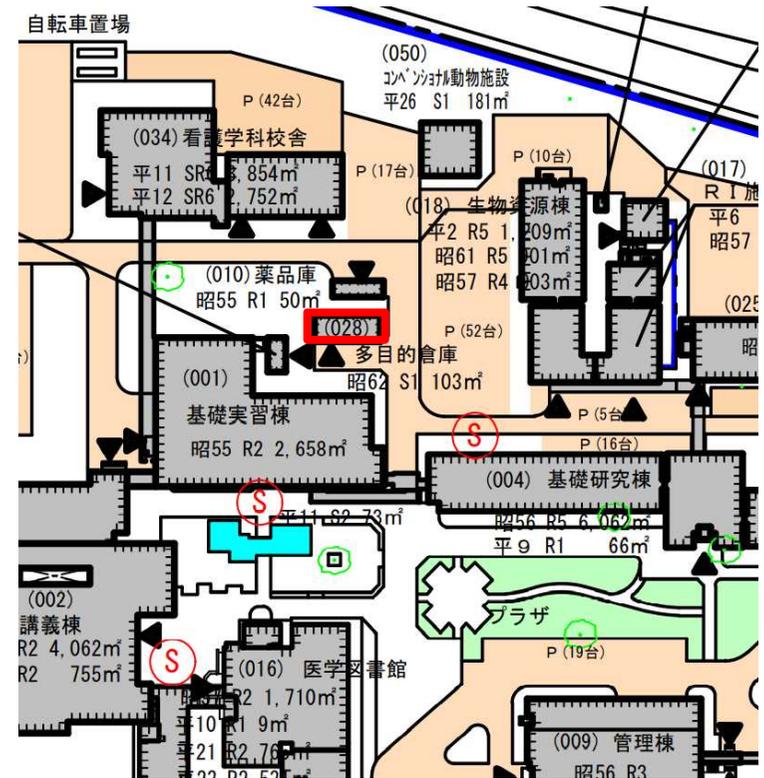
- ✕ プラ製でも容器包装でないもの
- ✕ 中身が残っていたり汚れているもの
- ✕ アルミコーティングされたもの
- ✕ 薬や化学肥料が入っていたもの
- ✕ シャンプーの容器などのポンプ部分

多目的倉庫について

一般廃棄物：ただし粗大ゴミとPC・家電類は経理課契約担当に相談
(産業廃棄物は置かないこと！)

紙類用

レントゲンフィルム



シャッター内部 紙類用分類置場



多目的倉庫：財務部経理課病院契約担当にて
シャッター鍵借受

福井大学松岡地区 ゴミの分け方・出し方

<連絡先> 財務部環境整備課 環境ISO担当 (内線2111)
 財務部経理課 医学部契約担当 (内線2063)
 病院契約担当 (内線3107)

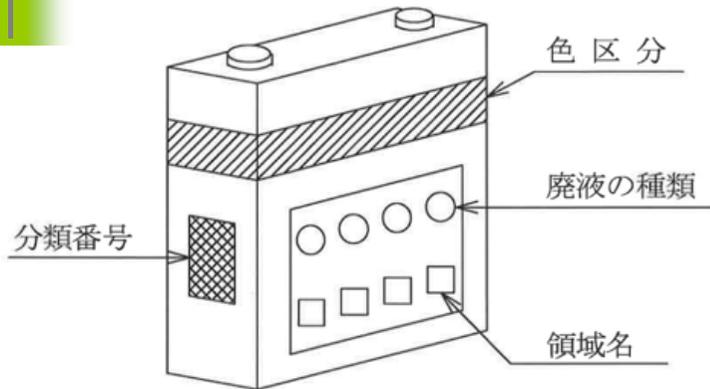
分別区分【袋の色】	ゴミ種類	注意事項
燃やせるゴミ 【青色】	台所ごみ 木くず類 再生できない紙くず プラスチック製品 ビニール製品	・台所ごみは水分をよく切ってください。 ・紙おむつは汚物を取り除いてください。 ・竹串などは先端を折るなど危なくないようにしてください。
燃やせないゴミ 【透明】	陶器類 金属類 ガラス類 スプレー缶 危険な物 割れた物は包んで出す	・スプレー缶は、中身ガスを完全に抜いてから出してください。(缶に穴をあけてガス抜きしてください。その際は火の気のないところで作業してください。) ・ガラスの破片など危険なものは、包んで出してください。
プラスチック製 容器包装 【透明】 (リサイクルします)	ボトル類 トレイ・パック・カップ類 袋・包装類 その他	※このマークがある「容器及び包装」が対象です。 ※下記のものは「燃やせるゴミ」に出してください。 ・プラ製であっても容器包装でないもの ・中身が残っているもの、汚れが落ちにくいもの ・アルミコーティングされたもの(菓子袋含む) ・薬や化学肥料が入っていたもの ・シャンプー容器などのポンプ部分
ペットボトル 【透明】 (リサイクルします)	清涼飲料水 酒類 しょうゆ このマークが付いているもの ① キャップ、ラベル、取っ手ははずす(リングは取らなくてもよい) ② 内側をすすぐ	※汚れがひどいもの、キャップやラベル等が付いたものはリサイクルされません。
空き缶【透明】 (リサイクルします)	飲料缶・缶詰缶 アルミ缶 スチール缶 水洗いする つぶさない	・中身は使い切って水洗いをしてください。 ・油などが入っていた缶は、「燃やせないゴミ」で出してください。 ・フタを取り、水洗いをしてください。
空きビン【透明】 (リサイクルします)	白びん・茶びん・青緑びん・黒びん いきびん(一升びん・ビール・ジュース・酢) フタを取り 軽く水洗いする ※割れたものは、包んで燃やせないゴミへ	・フタを取り、水洗いをしてください。 ・化粧品、薬品などが入っていたビンは「燃やせないゴミ」で出してください。
乾電池類	乾電池・充電型乾電池・ボタン型乾電池	・業者が回収するので、財務部経理課医学部契約担当または、病院契約担当へ連絡してください。
古紙 ダンボール類 (リサイクルします)	上質紙類 コピー用紙 ミックス紙 シュレッダー層、伝票類(ノンカーボン紙・裏カーボン紙着伝票等)、感熱紙、写真紙、紙コップ、タバコの空き箱、窓付封筒、包装紙、コピー用紙や上質紙類のホッチキスや綴じ紐または輪ゴムがついているもの。 新聞紙 雑誌・広告・ちらし ダンボール	・紙ひもで縛るかダンボール箱に入れて多目的倉庫へ搬出してください。 ・ミックス紙は、透明ビニール袋に入れるか紙ひもで縛って下さい。シュレッダー層は、透明ビニール袋に入れて各部署所定場所に出してください。
家庭電気機器類 パソコン (リサイクルします)	家電リサイクル法該当品 テレビ・エアコン・冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・衣類乾燥機 パソコン	・廃棄する場合は、財務部経理課医学部契約担当または、病院契約担当へ連絡してください。 (「リサイクル料」が発生します)
粗大ゴミ	粗大ゴミ処理に関しては、財務部経理課医学部契約担当または、病院契約担当へ連絡してください	

古紙の分類について

●古紙分類表

分類		分類内容	排出方法	分別上の注意点
①	コピー用紙・上質紙類	コピー用紙、コンピュータ用紙など地の白い紙 (カラー以外のもの)	・紙ひもで縛る ・段ボール箱	地の白い紙だけです。 ホッチキス、綴じ紐、ファイル類・金具等は 取り除いてください。 分別が難しい場合は雑誌類として排出し てください。
②	ミックス紙 (シュレッダー屑・紙くず類)	シュレッダー屑、伝票類(ノンカーボン紙・裏カーボン紙・ 裏ボール紙着伝票等)、感熱紙、写真紙、紙コップ、 タバコの空箱、窓付き封筒、包装紙 (①でホッチキス、綴じ紐、輪ゴムのついているもの)	・透明ビニール袋 ・紙ひもで縛る ・段ボール箱	ホッチキス、綴じ紐、輪ゴムはOK。 金具ははずしてください。
③	雑誌類	雑誌、辞書、チラシ、表紙の厚い本、封筒(窓付きも可) 包装紙、青焼き、パンフレット、商品カタログ、 チラシ(カラーも可)、コピー用紙(カラー)	・紙ひもで縛る ・段ボール箱	綴じ紐は必ず取り除いてください。 新聞紙とチラシは分別してください。チラシ は雑誌類になります。 段ボール類についでいる、ガムテープ、 ホッチキス類はそのままで結構です。
④	新聞紙	新聞紙		
⑤	段ボール類	段ボール、ボール紙、菓子箱類、金具をはずした紙ファイ ル等		

実験廃液・生活排水の適正管理・処理



- 1 容器は、松岡地区の所定のものとする。
- 2 容器は、白色ポリエチレン製とする。

実験系廃液は区分表にしたがって、分別貯留してください。

○容器に必ず濃厚廃液申込書を貼り、「**廃液の種類**」「**領域名**」「**分類番号**」を明記ください。

○7月中旬ごろに事前調査を行い、10月に回収予定です。

実験系廃液の分別区分

実験室で発生する各種有害廃液は、下記の分別貯留区分にしたがって、指定のカラーテープに区分された20ℓポリ容器内に分別貯留してください。後日回収日を指定し収集します。

I: 分別貯留区分

- (1) 2回洗浄まで含めること。
- (2) 分類3(フッ素・リン酸廃液)以外の水溶液に沈殿物がある場合は、100メッシュ以上でろ過すること。

区分	色区分	廃液の種類	対象廃液	注意事項
無機系 フレイク 白	1 緑	水銀系廃液	無機水銀化合物の水溶液 有機水銀化合物の水溶液	①有機水銀の化合物を含むときは、その内容を明記すること。 ②金属水銀及びアマルガムは、この区分に入らず、水を入れた小瓶に別に貯留し、封筒に環境整備課(機務係)に届出すること。 ③シアニド水銀は、分類2(シアン系廃液)に入れること。 ④重金属を含むときは、「含銀」「含汞」等と明記すること。 ⑤還元剤が含有しているときは、酸化剤で中和すること。
	2 青	シアン系廃液	ガリウム、ナトリウム、亜鉛、カルシウム等の不安定なシアン化合物の水溶液	①溶解シアン廃液は、弱酸性にする毒性のシアン化水素が発生するので、必ずpHが10.5以上で貯留すること。 ②シアン化合物は、分類6(劇毒性廃液)に入れること。 ③重金属を含むときは、「含銀」「含汞」等と明記すること。
	3 灰	フッ素・リン酸廃液	フッ素化合物の水溶液 リン酸化合物の水溶液 カルシウム塩の水溶液 マグネシウム塩の水溶液	①フッ素系廃液、リン酸系廃液の別に、容器に貯留すること。 ②カルシウム塩又はマグネシウム塩の水溶液で、重金属を含むときは、別の容器に貯留し、その内容を明記すること。
	4 黄	重金属系廃液	クロム、マンガン、鉄、ニッケル、コバルト、銅、亜鉛、ヒ素、カドミウム、鉛等、含有有害金属の水溶液 その他の重金属の水溶液 酸及びアルカリの水溶液	①アマルガム及び付着アマルガムは、この区分に入れること。 ②重金属含有メタル及び半導体は、この区分に入れること。 ③無機酸(硫酸、硝酸、過酸等)、水酸化ナトリウム等のアルカリ性廃液は、この区分に入れること。 ④アルミニウム、マグネシウム等の金属廃液は、この区分に入れること。 ⑤ペリウム、オスミウム、タリウム等処理方法の確立されていない有害物質の化合物は除くこと。(これらは、処理作業者の健康障害を引き起こす原因となる。) ⑥ニッケルカルボニル、アルキルアルミニウム等の猛毒物質は、無害化してから容器に貯留すること。 ⑦有害物は、混入しないこと。 ⑧アンモニア、キレート剤を含むものは、分類6(劇毒性廃液)に入れること。
有機系 濃縮 白	5 赤	可燃性廃液	水を含まない廃液(灯油、重油、機械油、動植物油等) 水を含まない廃液(石油エーテル、ヘキサン、ヘプタン、オクタン、アルコール類、アセトン、酢酸エチル、アセトニトリル、ベンゼン、トルエン、キシレン、スチレン、トリジン等)	①フッ素を含む廃液は、分類8(フッ素含有廃液)に入れること。 ②劇毒性物質は除くこと。 ③溶解性物質を除くこと。 ④揮発性物質を除くこと。 ⑤重合促進剤を含むときは、その旨を明記すること。 ⑥責任範囲にPCBを含むものは除くこと。
	6 黒	劇毒性廃液	四塩化炭素、クロロフォルム、ジクロロメタン等の廃液 水を含み可燃性を失った廃液 有機酸、アミン等の廃液 有機化合物水溶液廃液(血液、医薬品、色素、写真現像液、停止液等) 有機重金属系廃液(キレート等)	①アンモニウムイオン0.05%以上含む廃液は、この区分に入れること。 ②劇毒性物質は除くこと。 ③pHが低い廃液は、別の容器に貯留し、その旨を明記すること。
	7 黒	難分解シアン廃液	銅、鉄、ニッケル、鉛等の不安定なシアン化合物の水溶液 有機シアン化合物の水溶液	①水蒸気蒸餾トリウム法で分解できないシアニド化合物は、この区分に入れること。 ②pHは、必ず10.5以上で貯留すること。
	8 赤	フッ素含有廃液	フルオールベンゼン、フルオール酢酸等	フッ素成分を含む廃液(トリフルオール酢酸、フッ化ベンゼン等)は、この区分に入れること。

II: 次のものは収集できません。各領域等で原点処理すること。

種類	対象成分・摘要
発火性物質 特殊引火性物質	エーテル類(ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン等)、アセトアルデヒド、テトラリン
爆発性物質	火薬、アセチレン化合物、過酸化物、反応性危険物(有機物と濃酸、過酸化ベンゾイル等と混合したとき燃爆又は分解爆発する物質等)、熱水性物質(消防法(別表第1類、第2類、第3類)の危険物、酢酸エチル、ニトロメタン、ポリニトロ化合物、ジアゾ化合物、ハロゲン化窒素、金属窒化物、金属アミド、金属ナトリウム、カリウム)
有害・有毒性物質	シアン化水銀、ペリウム、タリウム、オスミウム、ニッケルカルボニル、アルキルアルミニウム、ベンジジン
病原体に汚染されている物質	

※不明な点は、財務部環境整備課 環境ISO担当(内線:2112)までご連絡ください。

福井大学松岡地区環境保全等実施専門部会 【平成20年 4月作成】

医療・実験系廃棄物の分類について

○産業廃棄物 【感染性廃棄物】

専用容器に分類して廃出してください。

【非感染性廃棄物】
廃プラスチック類、ガラス類、金属類は適切に分類をして、**黄色半透明ビニール袋**に入れて各フロアの**塵芥庫**へ出してください。

○一般廃棄物

非感染性廃棄物(燃やせるゴミ)は**青色ビニール袋**に入れてください。ただし、**針や刃物が付いている物**は入れないでください。

医療及び実験廃棄物の処理方法

廃棄物は下記のとおり分別し、全てに部署名を明記して廃棄してください。 平成30年9月改正

産業廃棄物		廃棄物の種類	ゴミを捨てる時の注意
感染性廃棄物	鋭利な物・ワレモノ	<ol style="list-style-type: none"> すべての針（プラスチック針も含む） 針付き注射器 点滴セット（針付き） メス・カミソリ類 血液の入ったスピッツ 血液汚染した点滴ボトル 空のアンブル 輸血後のルート付きバック 抗がん剤のアンブル・バイアル・顯剤に使用した針付きシリンジ 	専用容器 (20ℓ)  <ul style="list-style-type: none"> ○「福井大学」を明記する。 ○針はキャップをせず、そのまま捨ててください。 ○点滴セットは、針の付いたまま捨ててください。 ○血液で汚染された点滴ボトルは、輸液ルートも含めて、そのまま捨ててください。
	図形物	<ol style="list-style-type: none"> 使用済みガーゼ・消毒綿球（血液や胆汁、腹水などの体液が付着したもの） 注射器（血液・体液で汚染したもので針なしのもの） 医療処置で使用し、血液・体液で汚染したディスプレイ製品（原道富貴カテーテル、採血ホルダー、個人防護具など） 経管栄養ルート・注入器（輸血用バックなしの空袋） 輸血用バック 感染症（疑い）患者に使用されたもの その他肉眼的に血液汚染のあるもの 加温加温器チャンパー 	専用容器 (40ℓ)  <ul style="list-style-type: none"> ○「福井大学」を明記する。 ○この中には、すべての血液・体液（尿・便以外）で汚染されたガーゼ・消毒綿・包帯・シーツ類・マスク・手袋・帽子・カテーテル類や薬液バックなどを入れてください。 ○針や刃物が付いているものは入れないでください。 ○ノロウイルスや流行性角結膜炎などは、肉眼的汚染がなくても触れた可能性があるものを入れる。ただし、感染経路別に判断し、感染性が低いと思われる医療材料関連ゴミは、非感染性廃棄物とする
	非感染性廃棄物	廃プラスチック類 <ol style="list-style-type: none"> 点滴セット（針なし） 注射器（注射のカクテルなどに使用したもので針なしのもの） 輸液バック・プラボトル 医療材料関連のビニール類・ゴム製品・発砲スチロール 	ビニール袋 (黄色半透明 90ℓ・45ℓ)  <ul style="list-style-type: none"> ○針や刃物が付いているものは入れないでください。 ○ペットボトル・食品袋・包装類及びトレイ等はいれなくてください。
	ガラス類 <ol style="list-style-type: none"> バイアル類 点滴瓶 試薬の空き瓶 	ビニール袋 (黄色半透明 45ℓ)  <ul style="list-style-type: none"> ○飲み物等の空きビンはいれなくてください。 	
	金属類 <ol style="list-style-type: none"> 医薬品の空き缶 	ビニール袋 (黄色半透明 45ℓ)  <ul style="list-style-type: none"> ○飲み物等の空き缶はいれなくてください。 	
一般廃棄物	非感染性廃棄物	燃やせるゴミ <ol style="list-style-type: none"> 血液・体液で汚染されていない雑織くず（ガーゼ・包帯・脱脂綿など） 紙くず・箱類 紙おむつ・（中身を破壊した）ストーマ器具・検尿の紙コップ（血液や特定の感染症[®]の病原体に汚染されたもの以外） 生活ゴミ（台所ゴミ、木くず類、再生できない紙くず、プラスチック製品・ビニール製品） 	ゴミを捨てる時の注意 ビニール袋 (青色 90ℓ)  <ul style="list-style-type: none"> ○針や刃物が付いているものは入れないでください。 ※特定の感染症とは、感染症法の1～3類、便に病原体の排泄が考えられる4～5類感染症（E・A型肝炎、RSウイルス、感染性胃腸炎、手足口病など）、新型インフルエンザ等感染症

※生活ゴミ（プラスチック・ガラス・金属等）は、「福井大学松岡地区 ゴミの分け方・出し方」を参照のこと

福井大学松岡地区環境保全等実施専門部会
福井大学医学部附属病院感染対策委員会

正しい分別を！

ごみは決められた分類に従って
正しく分別し、決められたルールで
廃棄しましょう。
特に再資源化が可能な資源ごみは、
必ず分別しましょう。

詳細はこちら

<http://ems.ou.u-fukui.ac.jp/iso/d-19.html>

学内リサイクル実績

(松岡キャンパスのみ)

年度	件数	金額 原価ベース
H28	46件	6,739,330円
H29	29件	5,188,915円
H30	37件	3,396,274円
R1	28件	1,636,775円
R2	115件	3,800,510円
R3	64件	1,867,854円

~ まだまだ活用できる不要物品を有効活用し、
経費の削減と環境負荷の低減を目指しましょう！ ~

古い機器製品等については、最新機器との消費電力を比較検討の上、リサイクルに出してください。

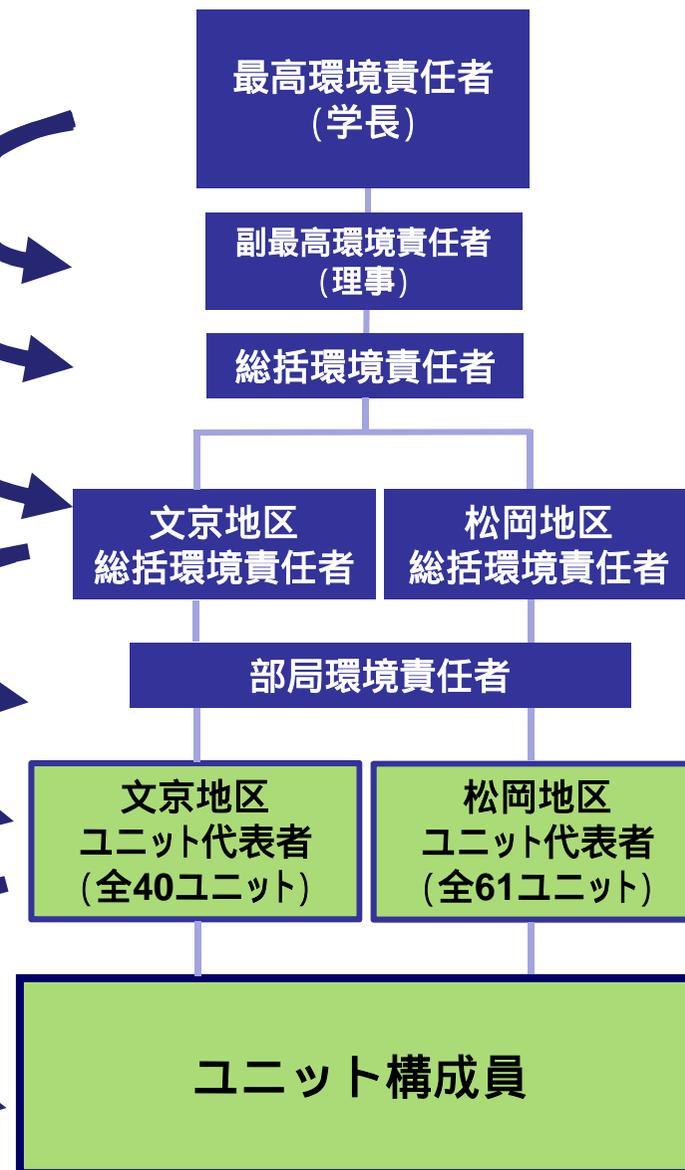
環境保全に関する教育活動

教育研修

環境ISOトップセミナー
(必要時)

責任者及び代表者研修(本研修)
実施者：総括環境責任者
対象者：部局環境責任者
 ユニット代表者

ユニット内研修(後日)
実施者：ユニット代表者
対象者：ユニット構成員



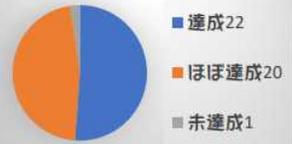
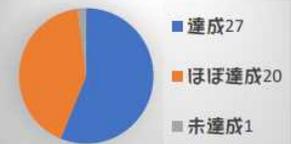
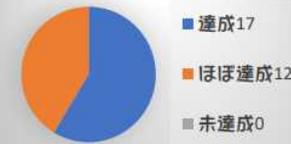
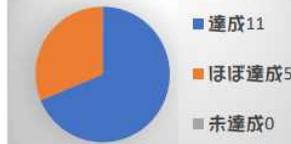
環境活動ユニット実施計画報告

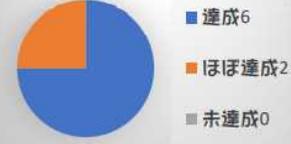
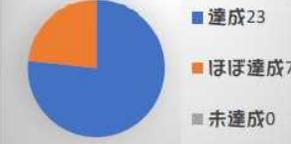
R3 各ユニット自己評価の達成度集計

実施期間
2021.7 ~ 2022.3

回答数
62/62ユニット

複数選択回答あり

総エネルギー				紙				水道水				法令順守(産業廃棄物)			
前年比1%の削減				前年度使用量以下に削減				前年度使用量以下に削減				産業廃棄物の適正管理 及び適正処理 (関連ユニットのみ)			
選択ユニット数44				選択ユニット数48				選択ユニット数29				選択ユニット数16			
達成22	ほぼ達成 20	未達成1	未回答1	達成27	ほぼ達成 20	未達成1	未回答0	達成17	ほぼ達成 12	未達成0	未回答0	達成11	ほぼ達成 5	未達成0	未回答0
50%	45%	2%	選択せず18 ユニット	56%	42%	2%	選択せず14 ユニット	59%	41%	0%	選択せず23 ユニット	69%	31%	0%	選択せず26 ユニット
															

法令順守(排水)				学内環境活動(ごみ投棄)				学内環境活動(学内リサイクル)			
排水基準の順守 (関連ユニットのみ)				環境美化の推進				環境活動の推進			
選択ユニット数8				選択ユニット数30				選択ユニット数25			
達成6	ほぼ達成 2	未達成0	未回答0	達成23	ほぼ達成 7	未達成0	未回答0	達成19	ほぼ達成2	未達成3	未回答1
75%	25%	0%	選択せず54 ユニット	77%	23%	0%	選択せず32 ユニット	76%	8%	12%	選択せず37 ユニット
											

マニュアル改定

環境マネジメントマニュアルの改定

主な改定点

組織名の変更

ユニット名の変更及びユニットの追加

目的に関する文言修正

現状に合わせた文言の追加及び修正

etc.



ホームページに第9版改定ページを掲載しています。お手数ですが、各ユニットで印刷し、必ず旧版(第8版)から新版(第9版)に差し替えてください。法規制リスト、様式集、手順書もホームページに掲載していますので、必要時に随時ご確認ください。

【施設と環境ホームページ内】 <http://ems.ou.u-fukui.ac.jp/iso/d-03.html>

ユニット代表者の変更があった場合は、環境ISO担当にご連絡の上、必ず次のユニット代表者に環境マネジメントマニュアルを引き継いでください。

今後の環境ISOのスケジュール

	部局環境責任者	ユニット代表者
7月	各ユニットから提出された 「教育研修実施報告書」と 「実施計画書」を確認	ユニット内研修の実施 「教育研修実施報告書」および 「実施計画書」の提出 7月29日までに環境ISO担当に提出。
9月中旬～ 10月中旬		内部監査の対応 対象ユニットのみ
12月	外部審査の対応 対象部局のみ	外部審査の対応 対象ユニットのみ
2月	環境影響調査の実施 全ユニットの構成員が回答対象	
3月	「実施報告書」 の確認	「実施報告書」の提出 3月24日までに環境ISO担当に提出。

提出のお願い

教育研修実施報告書

FU720-2

教育研修実施報告書

確認	作成
総括環境責任者	研修実施責任者

作成日	年月日
研修実施責任者	

研修名	基本研修	実施日時	年月日	場所
対象者 (参加者)				
実施方法				
実施内容				
欠席者への対応	<input type="checkbox"/> 欠席者あり (対応: <input type="checkbox"/> 欠席者なし)			
研修実施責任者 評価	参加者の理解	<input type="checkbox"/> 理解している	<input type="checkbox"/> ほぼ理解している	<input type="checkbox"/> 不十分

※修了証、免許がある場合、そのコピーを添付すること

これは、**ユニット内研修の実施報告書**です。

赤枠内を記入してください。

【7月29日までに提出】

- ・欠席者がいた場合には欠席者への対応もご記入ください。
- ・「研修実施責任者」はユニット代表者名もしくは研修の実施者名を明記ください。
- ・「研修実施責任者評価」には参加者の反応や要望等を記入していただいても構いません。

提出のお願い

実施計画 / 実施報告

実施計画/報告書

FU622-1

確認	
総括環境責任者	ユニット代表者

ユニット名	作成者	対象期間：年 月 ~ 年 月	
目標	実施計画		実施報告
	② 電子レギ	<input type="checkbox"/> 省エネに努める <input type="checkbox"/> エレベーターの上2階、下3階へは階段を利用する <input type="checkbox"/> 環境への負荷が少ないものを選んで購入する(グリーン購入) <input type="checkbox"/> 夏季の冷房温度を28℃以上、冬季の暖房温度を20℃以下にする	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成
紙	<input type="checkbox"/> 紙使用量の削減に努める <input type="checkbox"/> 両面プリンターを導入する <input type="checkbox"/> 学内連絡、会議用事前配布資料をメールで配布し、ペーパーレス化に努める <input type="checkbox"/> 保存文書の電子化に努める	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
水道水	<input type="checkbox"/> 不要な水は使わない <input type="checkbox"/> 水使用量の多い実験を行う際は、支障のない範囲で節水に努める(※関連ユニットのみ)	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
法令遵守	<input type="checkbox"/> 産業廃棄物の適正管理及び適正処理(※関連ユニットのみ) <input type="checkbox"/> 排水基準の遵守(※関連ユニットのみ)	<input type="checkbox"/> 関係する教職員・学生に産業廃棄物(廃液・有害形態廃棄物)の正しい保管及び処理方法を教育する <input type="checkbox"/> 排水処理施設の適正管理	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成
学内環境活動	<input type="checkbox"/> 環境美化の推進	<input type="checkbox"/> 学内清掃を行う <input type="checkbox"/> ゴミのポイ捨てをしない	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成
	<input type="checkbox"/> 環境活動の推進	<input type="checkbox"/> 使用可能な不用品を学内リサイクルに出品する。また出品物を引き取って再利用する。	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成
その他	<input type="checkbox"/> その他の努力項目		<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成
部局環境責任者の確認		<input type="checkbox"/> 確認済み	
ユニット代表者コメント			

これは、各ユニットの環境活動の計画書です。
赤枠内を記入後、以下をチェック。

【7月29日までに提出】
「目標」欄からユニット目標と「実施計画」をチェックし、計画を実行。

【3月24日までに提出】
で提出した計画に、「実施報告」で評価内容をチェックし、下欄に実施評価コメントを記入。

ホームページ

大学HP

大学案内

施設と環境への取り組み

松岡キャンパス関連資料
環境ISO 松岡キャンパス

環境マネジメントマニュアル関連
・環境マネジメントマニュアル第9版
・様式
・法規制リスト
・手順書

環境ISOのいろいろな情報が掲載されていますので、ぜひ一度ご覧下さい。

～確認のお願い～

全教職員の一人ひとりが保持するカードです。

なお、ユニット構成員で所持していない方がいましたら、必要枚数を環境整備課へ連絡してください。

"環境ISO担当" <ems@med.u-fukui.ac.jp>

(環境方針カードは2019.4.1が最新です。)

全構成員が最新版を保持してください。

各個人の取り組みを
2つ環境方針カードに
記入してください

「環境方針カード」

国立大学法人
福井大学

クリーンなキャンパスと地球のために
環境方針カード

ISO14001

私は環境を守るため、次のことを実行します。

① _____

② _____

所属 _____

名前 _____

JUSE
ISO 14001
JUSE-1E-004

MS
JAB
CM008

福井大学文京地区、松岡地区(附属病院除く)、二の宮地区、ハツ島地区は環境ISO14001の認証を取得しています。



温度計シールもあります

使用頻度の高い居室や実験室等の温度管理を目的に、H29年度に全ユニットに配布しました。希望するユニットがありましたら、環境整備課までご連絡ください。

ISO14001の概要等は以上です。
次は
内部監査関連
に進みます。



令和4年度 内部監査計画書(松岡地区)(案)

報告事項	内 容
内部監査日程	・内部監査：9月中旬～10月中旬の3週間程度
内部監査の対象 ユニット	3年に一度監査対象となるように、全ユニットから20ユニットを対象とする（全ユニットの約1/3）。ただし、医学部環境責任者・松岡地区総括環境責任者・環境整備課については毎年監査対象とする。
内部監査の概要	<p style="text-align: center;">＜日程＞</p> <p>・内部監査員養成研修講座： 株式会社 帝国データバンクによる「ISO14001内部監査員養成支援」（動画配信形式の講義＋理解度確認テスト）の研修を実施予定。 （文京・松岡地区、計50名） （8月に実施予定）</p> <p>9月上旬：内部監査対象ユニットの選定と内部監査チームの編成 比較的、内部監査経験豊富な監査員を選び、内部監査実施に先立ち監査チーム（複数）を組織し、事前にチェックポイント等の研修を行う。</p> <p>9月中旬～10月中旬： 内部監査実施 10月下旬 内部監査結果の報告とフォローアップの実施</p> <p style="text-align: center;">＜主な監査事項＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●福井大学環境マネジメントマニュアル2022年版での変更点がユニット内で周知徹底されているか確認する。 ●環境目標を達成するための各ユニットの取り組み状況を確認する。（省エネルギー設備設置状況、実験室等における法律・条例等の順守状況など） ●昨年度の内部監査で、軽微な不適合事項や観察事項の対象となったユニットの改善状況を確認する。

作成者	承認
内部監査責任者	学 長
藤田 亮介	

ISO14001 外部審査の審査傾向について

1. 審査機関の基本的姿勢

環境 ISO 審査機関（日本科学技術連盟）の審査に対する基本的姿勢は、審査によってあら探しをするものではなく、「良い部分はより良く、弱点となっている部分はそれを補完し、不都合な部分はそれを正す」といったものとなっています。

2. 審査の基本的内容

ISO14001 規格（環境マネジメントシステム）に関する質問については、ISO の事務担当や総括環境責任者が環境 ISO 部会等で管理・運用していますので、それらの者が対応いたします。

貴ユニットにおいては、定められた環境活動についてユニット内の活動状況や構成員への支援状況などをお答えください。また、本学が主に力を置いている著しい環境側面（環境に著しい影響を与える、または与える可能性のある側面）は文京・松岡キャンパスともにエネルギー・紙・水の使用、廃棄物の排出、環境に関する教育・研究などです。（マニュアル P.20 参照）ユニットが関係するこれらの事項に関する質問も予想されますので、環境マネジメントマニュアルを今一度ご確認ください。

〈審査の基本的なチェックポイント〉

- ・組織、人的規模、業務内容の確認。
- ・著しい環境側面、環境目標及び実施計画に関連する項目の確認。（マニュアル P.20、P.27～28 参照）
- ・環境目標および実施計画に繋がる取り組みの確認。
- ・実施計画の進捗状況の確認。（マニュアル P.27～28 参照）
- ・構成員への EMS に関連する教育及び周知方法等の確認（マニュアル P.30～32 参照）
- ・構成員の EMS 理解度の確認。
- ・廃棄物処理方法および保管状況の確認。
- ・法規制に関連する書類の確認。（該当部署のみ）※別紙「法規制リスト」参照
- ・環境方針カード保持の確認。
- ・実験廃液および医療系廃棄物の処理方法の確認。（該当部署のみ）
- ・毒劇物の取扱い、保管状況および管理体制の確認。（該当部署のみ）
- ・学生に対する EMS および危機管理の教育体制の確認。（該当部署のみ）
- ・学内環境美化運動への参加状況の確認。
- ・その他環境負荷に配慮した取り組みの確認。